

Please join us !

OSAKA
大阪おおさかの街

— for the city of Osaka —

九州観光シリーズ第一弾

豊の国 大分県編

本格的な観光シーズンがやってきました。旅を通じて新たな鋭気を養おうと考えている方にお勧めなのが、大阪駅前第1ビルから第4ビルにある、日本各県の県事務所です。インターネットだけでは判らない生の観光情報サービスを利用して、ひとりひとりの好みにあったプランを立ててみませんか。

大分県の魅力を紹介する大阪事務所

大分県大阪事務所は大阪駅前第3ビル21階にあります。大分県勢発展の行政推進のため、観光・物産の紹介や農林水産物の流通促進、企業誘致を行っています。県内各エリアのパンフレットを豊富に取りそろえ、様々な観光情報を職員がアドバイスしてくれます。「ゴールデンウィークから夏の観光をお考えの方は気軽に足を運んでいただきたい」と、職員の方は仰っていました。

3月12日に九州新幹線が全線開通しました。大分県では多くの観光客に訪れていただくチャンスとして、大分県内の各エリアからの旬な情報収集、さらに積極的に情報発信に取り組んでおります。九州新幹線全線開業に伴い、関西から九州への時間が短縮され、九州がもっと身近になり、九州全体へのアクセスがとて便利になりました。関西からもより気軽に訪れる事ができるようになると、2月22日には「一足のばして大分温泉・グルメ」と称し、大分観光キャンペーンをせんちゅうバルで行いました。別府八湯として全国屈指の温泉を有する別府市と、水郷日田として水が生まれ育つ清流を有する日田市のそれぞれの観光キャンペーンレディが大分県の魅力的な観光情報をPRしました。

お勧め観光スポット別府市と日田市

別府温泉の歴史は古く、奈良時代の豊後風土記にも登場しています。江戸時代までは半農半漁村だった別府ですが、明治、大正、昭和初期にかけて温泉掘削技術の発達、瀬戸内海航路や鉄道など交通機関の発達により、多くの観光客が訪れるようになりました。

別府温泉は湧出量毎分8万7千リットル、源泉数2500余り、共同温泉数約120軒、これらの値はいずれも日本一。泉質10種類と多様性に富んでいます。砂湯、泥湯、蒸し湯、



せんちゅうバルでの盛況ぶり

打たせ湯と入浴法も多彩。宿も大ホテルから湯治宿まで約230軒あり、温泉好きの方にはたまりません。近年は、温泉に育まれた別府のまちをポランテイアガイドと一緒に歩く「別府八湯ウォーク」なども開催され人気となっています。また、別府八湯の一つ鉄輪地区に昨年3月にオープンした「地獄蒸し工房鉄輪」は新鮮な魚介類、野菜を蒸し釜で頂く今人気のスポット。足湯、足蒸しもあります。

今年も別府・阪神航路開設100年ということで、様々な記念事業も開催されます。たまにはゆっくりと船旅などいかがでしょうか。

日田市は、周囲を阿蘇・くじゅう山系等の美しい山々に囲まれ、これらの山系から流れ出る豊富な水が日田盆地で合流し、水郷を形成しており、「水郷日田」と呼ばれています。江戸時代から続く日田の屋形船と鶴飼いは最高のもてなしで、風流ないにしえの船遊びとして体験できます。さらに、古くから北部九州の各地を結ぶ交通の要衝として栄え、江戸時代には幕府直轄地・天領として西国筋郡代が置かれるなど、九州の政治・経済・文化の中心地として繁栄し、江戸時代当時の歴史的な町並みや伝統文化が今なお脈々と受け継がれています。詳しくは7月23、24日にせんちゅうパルで行われる予定の観光物産展でも紹介されますのでお楽しみに。

「他にも日本を代表する湯布院温泉など、県内各地に魅力的な観光地が沢山あります。是非、大分県に足を運んで頂き、その良さを感じて欲しい」と物産観光課の小山田主任。大分県内を安価に効率よく巡る手段として、ふるさと再発見バスツアーを紹介して頂きました。県内の主要な観光地を結ぶ12コースを設定しており、県内各地の観光協会の協力を得てつくった地元密着型ツアーとのこと。食事もついていて、地理に不案内でも内容の濃い旅が出来るそうです。

県事務所では観光情報の提供の外、大分県への企業誘致や就職・定住支援なども行っています。旅行だけでなく、ビジネスで大分県を訪れる際にも、一度、県事務所に立ち寄る事をお薦めします。

大分県大阪事務所

大阪駅前第3ビル21階

電話06・6345・0071



江戸時代の繁栄が伺える豆田町



地獄蒸し工房鉄輪（2010年3月オープン）

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複製、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞